

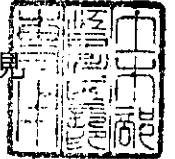


07土計送第42号
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 殿

江戸川区長

多田 正 見



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

日頃より、江戸川区政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成19年4月2日付国道企第114号による依頼については、別紙のとおり回答いたします。

問合せ先

江戸川区 土木部 計画課 計画係
電話5662-8389
担当) 豊田、松岡

(1) 重点化を進める上で、優先度の高い道路政策は何か

- ① 地域拠点を結ぶ生活幹線（都市計画〈補助線〉）道路整備【区民の日常暮らしを支える】
- ② 首都圏道路ネットワーク（三環状9放射）整備【本区を含む都心を通過する車の排除】
- ③ 自然災害（地震・水害等）に備え、防災性を高める道路・橋梁整備【老朽化橋対策、耐震性強化等】
- ④ 自転車走行レーンの整備、歩道内自転車走行の安全確保【自転車安全利用の促進】

【その他の優先する事項】

「誰もが安心して活動できるバリアフリー交通環境の充実」「渋滞対策」「交通結節点（駅）広場の充実」「交通事故を減らす安全対策の充実」「歩行空間の確保、防災性向上、景観形成を図る無電柱化の推進」「バスや新規鉄道（メトロセブン）などの交通機関への支援」など

(2) 効率化を徹底的に進める上で、重要な事項は何か

- ① 事業の実施にあたり、早い段階から地元の協力を得る取組みが必要
- ② 都市計画道路の事業認可時における「用途・容積の見直し」が必要
- ③ 都市計画道路整備における「一筆事業認可」等の効果的な取組みが必要

(3) 道路政策や整備・管理等について

① 生活幹線（都市計画〈補助線〉）道路の国庫補助について

通過交通が集中する首都圏の道路整備は、区内交通環境の改善のみならず、国民にとって緊急に解決をしなければならない課題である。

本区の生活幹線（都市計画〈補助線〉）道路整備の整備率は、67%であり、まだ未整備路線が多く残っている。

本区においては、国庫補助金の採択要件の制約あることなどから十分な財源確保ができず、整備に時間がかかっている現状がある。

については、国庫補助採択対象の拡大および増額を要望します。

② 自転車走行レーン等の設置に対する補助制度について

自転車の安全利用促進を図るため、自転車走行レーン等の設置（用地確保、整備等）に対する補助金制度の創設を要望します。

③ 維持管理等について

首都圏の道路は、都市への車利用者の集中により、幹線道路から生活道路に至るまで地元住民だけでなく多くの国民が利用している。それらの道路施設を常に良好な状態に保つためには、老朽化した橋の補強や道路メンテナンスなどの多大な管理費が必要である。維持管理費用についても国費が投入されるよう要望します。

④ 橋梁整備に関する支援について

江戸川区は、荒川・江戸川・旧中川・中川・新中川を擁し、災害時に交通が橋に集中することが予想されます。また、震災で、区内各所で落橋した場合等は、地域が孤立することが予想されます。そのため、橋梁の整備・補強・維持管理についての国の積極的な支援を要望します。